

住民活動ふれあいまつりでは団体や個人でいろいろな協力がありました。 ありがとうございました。

10月20日(日)に開催された住民活動ふれあいまつり会場内で「もったいない陶器市」「文庫本市」が行われました。

毎年リユースとして行われている「もったいない陶器市」「文庫本市」では9月にたくさんの陶器や文庫本の持ち込みがあり、まつり当日、無料で持ち帰ってくれました。9年前、町民の方から陶器を持ち帰る際に「東日本大震災義援金」にしてほしいとの申し入れがありました。

今年も、もち米60Kg 福島へ送りました。

そこで来場者の思いを受けて、9年前から毎年、陶器市の義援金で福島の「NPO 花見山を守る会」に栄町産のもち米を送っています。

今年も11月5日にもち米60kgを送りました。早速お礼のはがきが届き、12月開催予定のもちつき大会に使ってくださるそうです。また毎日開かれているサロン「花見山さくらの」の楽しい様子も知らせてくださいます。今後も精一杯の支援を継続していきたいと思えます。



栄町ふるさと応援寄付金（災害支援）として栄町に寄付

今年、千葉県は台風や大雨などの自然災害で多くの方が被災され不自由な生活を余儀なくされました。住民活動ふれあいまつりでも中学生ボランティアの皆さんが台風の影響で部活の二部会等の開催が危ぶまれ、日程調整など大変な中、21名の生徒さんが参加してくれました。参加団体から徴収した中学生の昼食代が余り、全体反省会で検討した結果、災害の義援金として寄付することになりました。栄町ふるさと応援寄付金（災害支援）に寄付します。ご協力ありがとうございました。

【中学生ボランティアの感想②】

「住民活動ふれあいまつり」にボランティアで参加してくれた中学生が感想を書いてくれました。その内容は先月号に掲載しましたが、とても元気をもらえる内容だったので、シリーズにして皆さんにお届けしたいと思います。

- ・お世話になったブースのみな様が、とても優しくしてくれて、とても楽しんで活動できました。ありがとうございました。最後もみんなとじゃんけんしたり、自転車に乗ったりして、すごく楽しかったです。くじ引きをしたり、わ投げをしたり、たくさん遊べて小学生とも交流し、大人の方ともたくさん話して色々な体験ができて、良い思い出になりました。本日は、お世話になりました。
- ・最初は少し緊張して、おじいちゃんおばあちゃんに声をかけることができませんでした。でも声をかけてくれる方々がいて、みんなでやっていたらとても楽しかった。がんばってね～と言われて（あ～期待してくれているんだな～）と思って元気に声を出していたら、かわいいね～、元気だね～、ありがとう等の色々な声がきこえてきました。とてもやりがいを感じました。今日1日ありがとうございました。
- ・初めは、お客様との会話でさえも緊張していたけれど、途中からはしっかりとはずかしがらずにできた。やっぱりボランティアを終えたあとは、とてもいい気分になる。
- ・司会もボランティアも初めてでしたが、無事終わって良かったです。来年も（たぶん）参加しますが頑張ります。よろしくをお願いします。